

平成 29 年秋期 富岡西・能見台地区推進連絡会 意見交換要旨

1 日時

平成 29 年 11 月 17 日（金） 13:30～15:00

2 場所

能見台サウスヒル第一集会所

3 参加者

（地域側）町内会長・副会長・民生委員等 9 名

（支援チーム、その他行政側）

区役所 11 名

区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 7 名

4 意見交換要旨

（1）見守り等

（地域意見）

- ・平均 8 年程度で住民が入れ替わる。共益費も家賃も増えていないが、空き室も減らない。
- ・友愛サロンでケアプラの協力でスクエアステップを行っているが、メンバーが固定している。他を頼らず自分達で解決するといった人たちにも参加してほしいが。
- ・様々な活動に出てくる人は心配ないが、出てこない人、困っている人を見つけあげるのが自治会の役割かもしれない。他の自治会の情報が知りたい。
- ・防災をきっかけに繋がりづくりを行っている。600 世帯の戸建ての自治会だが、感震ブレーカーの推奨を進めて約 9 割が取り付けた。自治会員以外にも自治会から貸出す形で。設置しに回る際にいろいろと話を聞いている。
- ・防災サポーターが毎月第二土曜に勉強会を実施。約 50 人。高齢者等の災害弱者を事前に登録し、発災時にサポーターが駆け付ける。3～4 か月に一度安否確認訓練を実施。サポーターには若い人もいる。
- ・国勢調査は個々の家を回るのによい機会となっている。
- ・一人暮らしの高齢者が集う場を月 1 回会館に設けている。お茶とお菓子を用意。参加者も増えてきて現在 25 人程度。そこから色々な情報が見えてくる。

（支援チーム）

- ・能見台は町が新しく、高齢化率も低いように見える。この連絡会でも隣の人も知らないなどの話も出ており、他を頼らない、自分達で解決するという意識の方が多いのか。
- ・ケアプラへの相談も増えてきている。これまで相談する機会が少なかったからか、相談に至るまで遅いケースが見られる。

(2) お祭り

(地域意見)

- ・「能見台音頭」を能見台小の3年生が練習しているようで、近所のお祭りで披露させてほしいと先生が相談に来た。ダンスクラブなども参加している納涼祭で歓迎すると話をしている。
 - ・2つの自治会がタイアップして、敬老の集いを行っている。80人程度集まる。
 - ・1つのマンションの自治会。夏祭りや秋には敬老の集い。ロビーコンサートは子どもから大人まで様々参加する。
 - ・七夕まつりを駅前商店街が実施。
 - ・400人程度参加するお祭りを、スタッフ60人程度でやっている。
 - ・出店は有料だと近隣の町内会のお祭りにも遊びに行きやすいが、無料だと申し訳なくて行きにくい。
 - ・12月に餅つき。100kgのもち米、スタッフは60人で準備は前日から。つき手が高齢化しており今後心配。横浜高校と能見台小の和太鼓クラブが参加。
 - ・5年ぶりにお祭りを復活させた。アンケートを取り、時間単位のボランティアを集めた。富岡中が模擬店の販売を手伝う。理科部の実験が子供に人気がある。
- (支援チーム)

- ・能見台地区の方の話によると地域の方が能見台音頭の踊りを能見台小3年生に教えるという時間があったとのこと。先日の能見台フェスタでも地域の方と小学生がともに踊りよい交流の場となっていた。

(3) 防災対策

(地域意見)

- ・発災時に水洗式トイレは使用してよいのか、悪いのか。金沢区はダメで磯子区では良い、区内でも並木は良いが他地区はダメなどの話を聞く。正確な情報を教えてほしい。
 - ・いわゆる防災公園はあるか。
- (支援チーム)
- ・トイレについては調べて改めてお伝えする。
 - ・市で整備した防災公園はない。